

様式 1（介護ロボット等モニター調査事業 資金交付申請書）

平成26年9月16日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（申請者）

〒231-0005

住所 神奈川県横浜市中区本町4-34

事業者名 富士ソフト株式会社

担当者所属 ロボット事業部 マーケティング室

担当者名 瀬古 愛美

電話番号 045-650-8843

電子メールアドレス emiseko@fsi.co.jp

介護ロボット等モニター調査事業 資金交付申請書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して申請します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査計画書（別紙）

2. 会社概要（別紙添付）

（本書類の取り扱い等について）

- ご提出いただく「モニター調査計画書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングのために公開いたします。公開可能な範囲において、できる限り記載してください。
- 「モニター調査計画書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングに際して、インターネット等を通じて登録協力施設等へ情報提供します。
- 依頼する案件について、モニター調査に協力いただける介護施設又は団体等が現れない場合には、実施できない場合もあることを予めご承知置きください。

(別紙)

平成26年9月16日

介護ロボット等モニター調査計画書

1. 申請者の概要

事業者名	富士ソフト株式会社	
担当者名	ロボット事業部 マーケティング室 瀬古 愛美	
担当者連絡先	住所	神奈川県横浜市中区本町4-34
	電話	045-650-8843
	電子メールアドレス	emiseko@fsi.co.jp
主たる業務	通信制御系、機械制御系、基本ソフト系等に関する受託ソフトウェア開発、各業種で使用する業務用アプリケーションの受託ソフトウェア開発、品質評価及び管理支援、コンサルティング、プロダクト開発販売、パーソナルコンピュータ関連機器の設計・製造・販売及びシステム保守・運用サービス等全般。 2012年6月よりコミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」高齢者福祉施設向けモデルの販売を開始し、全国150箇所以上の高齢者福祉施設にて活用されている。	
主要な製品	コミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」高齢者福祉施設向けモデル	
希望する施設等の種類・職種等	想定する「使用者（認知症をもつ高齢者）」が20人以上参加いただける特別養護老人ホームもしくは介護付き有料老人ホームで、対象者のケアプランや認知症の程度を複数の指標で計測しているもしくは計測ができる施設を希望する。	
希望するエリア	神奈川県内 （弊社事業部が所在する神奈川県横浜市より公共交通機関を用いて片道1時間30分以内であることが望ましい）	
その他	本モニター調査は公立大学法人首都大学東京 健康福祉学部 作業療法学科 准教授 井上薫先生ご協力のもと、実施をいたします。なお、公立大学法人首都大学東京研究安全倫理審査会の審査において承認されております。 本モニター調査では、井上先生ご協力の元、「認知症ケア・マッピング（DCM）」という手法を用いた観察評価を行います。 DCMはパーソンセンタードケアを実践するためのツールとして世界中で活用されている手法です。 認知症をもつ高齢者の方の状態を観察することで、状態変化を数値化して表すことができます。 観察日には、DCMマッパーと呼ばれる観察・評価者と作業療法士が複数名（3、4名を予定）で施設を訪問し、観察します。 観察日は調査開始前、調査開始直後、調査開始1か月後、調査開始3か月後、調査終了直前、調査終了直後の計6回を予定しております。 観察調査実施前には別途調整のうえ、施設職員の方へ向けて説明会を開催します。 選定された対象者につきましては、ご本人もしくはご家族の皆様にご同意書を頂いた後、対象者のケアプラン（現病歴、認知症の診断名、要介護度、自立度、認知症度等が記載された用紙）や複数の指標を用いて対象者の認知症の状態などに変化が見られるかを検証いたします。	

	調査開始時、調査後3か月経過時、調査終了時で対象者の方の長谷川式、MMSE、Mスケール、N-ADL、DBDなどのデータの計測をお願いいたします。 調査期間中は対象者がパルロと触れ合った回数の計測をお願いし、反応の違いを計測いたします。 また、介護負担感を計測し、より良い製品づくりを行うため施設スタッフへの質問紙調査も並行して行います。 スケジュールや必要な情報については、応募をいただいてから別途調整を致します。
--	---

2. 申請機器の概要 (可能な範囲でご記入ください。)

機器の名称 (仮称)	コミュニケーションロボット「PALRO (パルロ)」高齢者福祉施設向けモデル Ver. 3.6
機器の概要 (写真添付)	1. 主な対象者 認知症を持つ高齢者の方で、PALROを認知でき(目線を向けじっと眺められる以上の関心をもつ方) 座位保持がおおよそ30分以上可能な方 本検証では、「認知症ケア・マッピング(DCM)」という手法を用いて、PALROの活用によって認知症高齢者の方にどのような違いがあるのかを検証、測定させていただきます。 そのため、検証対象者につきましては認知症と診断された方を選定していただきますよう、お願いいたします。 2. 目的 ① 認知症高齢者の人とのコミュニケーションの促進 ② 認知症高齢者の健康維持・増進 ③ 認知症高齢者の生活リズム改善 ④ 介護施設職員の負担軽減 ⑤ 介護施設における介護サービスの品質向上 以上5つの観点に沿って、観察・分析を行います。 3. 写真



コミュニケーションロボットPALRO



集団レクリエーションを行う様子

4. 使用方法

共有スペースの机上にPALROを設置し、複数もしくは個別にPALROとコミュニケーションをとったり、レクリエーションプログラムを楽しんでいただく。
使用する時間帯は特に指定しないが、レクリエーションの時間や日中継続して起動していただくことが望ましい。

使用シチュエーションとして主に2つのシチュエーションを提案する。

①集団での活用

共有スペースの机上にPALROを設置し、複数人とPALROでレクリエーションを行っていただく。

集団レクリエーションの時間での活用は、複数人（最大20人程度）がPALROを囲むなかで、20～30分程度PALROが組み替えて行う体操や、ダンス、クイズ、ゲームなどを楽しんでいただく。

また、入浴の時間や食事の時間など施設スタッフが高齢者の元を離れなければいけないシチュエーションでも複数人に対してPALROが行う体操や、ダンスを行うことでご利用者様の体操機会を増やすことができ、日中の活動時間の増加などが期待される。

施設スタッフにおいても、忙しい時間帯の有効活用が行える。

②個別での活用

対象者の目の前の机上に、PALROを設置する。目の前に対象者がいると、PALROから話しかけを行い、名前を覚えて呼びかけることができる。

特に不穏になりがちなご利用者様や、閉じこもりがちなご利用者様などにコミュニケーションを促進させることが期待される。

現在の開発状況と課題	機器に関するリスクアセスメント（安全性の評価と確保対策） JIS C 6950-1:2009、VCCIクラスA、PSE特定電機用品取得済み また、レンタルサービスでは製造物責任保険に加入しており、対人・対物補償も含まれる。 2013年6月、NPO法人とちぎノーモライゼーション研究会・福祉用具総合評価センター（CEACAP）（現：株式会社 福祉用具総合評価センター）にて福祉用具としての臨床評価を実施。 全26項目中、判定Aが11項目、判定Bが4項目、判定Cが0項目と評価され、福祉用具として不適合な項目はなかった。 なお、判定Bとなった4項目（移動（持ち運び）、可動部の挟み込み、異常状態の表示、終了）については検証前に弊社社員より説明の機会を設ける事で、施設職員に取り扱いを周知できるようサポートする。 現在の開発に関する課題 平成25年度、4件の実証試験事業で認知症高齢者に対する適応を検証した。結果として、認知症高齢者にとって良い刺激とされている「コミュニケーション」「ものとの関わり」「知的活動」「余暇（楽しみ）活動」「自己表現」「身体運動」など多様な活動を提供することや、認知症高齢者に対して不穏行動の減少や生活リズムの改善という効果が得られた事例も見られた。 しかしながら、会話の内容や方法などについて解決すべき検討課題も明確になった。 本年度は、昨年度の実証実験結果を踏まえ、認知症高齢者により適応させた新しいバージョン（Ver. 3.6）の開発を行ったため、本モニター調査で検証を行いたい。 具体的に検証を行いたい点としては以下2点が挙げられる。 ① 認知症高齢者に対して明確な適応範囲が見定められておらず、パルロを適応する対象となる認知症高齢者についておよその目安（介護度や認知症の症状、座位保持時間等）が十分検証できていない点。 ② 認知症高齢者に対して有用と考え、特に強化をしている会話機能の活用が想定されるシチュエーション、使用方法においてどれくらいの介護度の認知症高齢者に有用であるかを検証したい。
-------------------	---

3. モニター調査の内容（お願いしたい内容をできるだけ具体的に記載してください。）

詳細については、ご応募いただいた後に別途ご相談とさせていただきます。

不明点等あれば、お問い合わせください。

【検証前】

① 対象者の選定

前述の利用想定者20人を、施設内で選定してください。

なお、観察実施の都合上、普段過ごされている棟やフロアがなるべく同一となるようご配慮願います。
選定をする際は、認知症の診断結果をもつこと、ケアプランや対象者プロフィール（長谷川式、MMSE、Mスケール、N-ADL、DBDなどのデータ）に欠損が無い方、またご本人もしくはご家族の同意がとれることが見込まれる方の選定を希望いたします。

② 対象者のプロフィールの提供

対象者の病歴や、既往歴、プロフィール情報、ケアプランの提供を依頼致します。

いただいたデータは決して個人が特定されないように検証・分析・公表させていただきます。
提供されるプロフィールデータは個人が特定されない形に匿名化していただいても構いません。

③ 対象者の状態計測

弊社および調査協力者から依頼するいくつかの指標に基づき、対象者の方の認知症や、BPSDの状態やADLの状態について計測をお願いいたします。

計測の方法については、弊社および調査者からご説明させていただきます。

④ 施設職員への質問紙調査

施設職員の方には、介護負担感を計測するための質問紙（「バーンアウト尺度」）へのご記入をお願いいたします。

対象となる職員は、対象の認知症高齢者への介護に直接携わっている全ての方とさせていただきます。

⑤ 説明会の実施

施設職員に対して、観察手法について、また対象者の状態計測等についてご説明をさせていただきます。
常勤職員の方全てを対象とし、2回程度説明会を実施する予定です。

⑥ 観察者の受け入れ

弊社および調査協力者が観察のため、フロアに複数名でお伺いをいたします。

対象となる方の人数に応じて、観察者の人数も変わります。

観察時は通常の介護サービスと同様のことをご実行ください。

【検証中】

① 対象者の状態計測

弊社および調査協力者から依頼するいくつかの指標に基づき、対象者の方の認知症や、BPSDの状態やADLの状態について定期的に計測をお願いいたします。

頻度は2、3ヶ月に1度を予定しております。

② 観察者の受け入れ

弊社および調査協力者が観察のため、フロアに複数名でお伺いをいたします。

対象となる方の人数に応じて、観察者の人数も変わります。

観察時は通常の介護サービスと同様のことをご実行ください。

③ PALR0の操作

弊社が提案する活用方法を参考に、週の中で2～3回以上はPALR0を対象の高齢者の前に出してご活用ください。

活用方法に対しては特に制限を設けませんが、操作については職員にて行ってください。

④ PALR0活用の回数計測

PALR0活用に対して、対象者様が何回ご覧になられたのか回数およびおおよそ活動に参加された時間の計測をお願いいたします。

【検証後】

① 対象者のプロフィールの提供

対象者の病歴や、既往歴、プロフィール情報、ケアプランの提供を依頼致します。

いただいたデータは決して個人が特定されないように検証・分析・公表させていただきます。

提供されるプロフィールデータは個人が特定されない形に匿名化していただいても構いません。

② 対象者の状態計測

弊社および調査協力者から依頼するいくつかの指標に基づき、対象者の方の認知症や、BPSDの状態やADLの状態について計測をお願いいたします。

計測の方法については、弊社および調査者からご説明させていただきます。

③ 施設職員への質問紙調査

施設職員の方には、介護負担感を計測するための質問紙（「バーンアウト尺度」）へのご記入をお願いいたします。

対象となる職員は、対象の認知症高齢者への介護に直接携わっている全ての方とさせていただきます。

④ 観察者の受け入れ

弊社および調査協力者が観察のため、フロアに複数名でお伺いをいたします。

対象となる方の人数に応じて、観察者の人数も変わります。

観察時は通常の介護サービスと同様のことをご実行ください。

検証期間を通じて、対象となる高齢者の状態やプロフィールの変化や、施設職員の介護負担感の変化がないかを計測させていただきます。

そのため、数回同様のデータ計測のお願いや質問紙のご記入を依頼させていただきます。

計測方法等についてはなるべくご負担をかけないよう、配慮させていただきたいと思っております。

（注）必要に応じて記載欄を増やして記入してください。



会社概要

名称	富士ソフト株式会社
英語名称	FUJISOFT INCORPORATED
株式	東証一部上場(1998年9月1日) 証券コード番号9749
本社所在地	〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町1-1 TEL:045-650-8811 (大代表) FAX:045-650-8810 URL: http://www.fsi.co.jp
設立	1970年(昭和45年)5月15日
資本金	262億28万円
売上高	単体613億16百万円 連結1,053億99百万円(2013年12月期)
従業員数	単体5,028名 連結10,328名(2014年3月末現在)
取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、横浜銀行 三井住友銀行、りそな銀行
取締役	代表取締役 会長執行役員 野澤 宏 代表取締役 社長執行役員 坂下 智保 取締役 常務執行役員 竹林 義修 取締役 常務執行役員 豊田 浩一 取締役 常務執行役員 野澤 仁太郎 取締役 佐藤 諭 取締役(社外) 二見 常夫 取締役(社外) 油田 信一 専務執行役員 山口 昌考 常務執行役員 渋谷 正樹 常務執行役員 須藤 勝 常務執行役員 田原 大 執行役員 木村 宏之 執行役員 布目 暢之 執行役員 安江 令子 執行役員 内藤 達也 執行役員 白石 善治 執行役員 原井 基博 執行役員 猪原 幸裕 執行役員 前川 政善 執行役員 岡嶋 秀実 執行役員 新井 世東 執行役員 山岡 寛典 執行役員 堤 健二 執行役員 三木 誠一郎 常勤監査役 生嶋 滋実 監査役(社外) 石村 英二郎 監査役(社外) 元石 一雄 監査役(社外) 石井 茂雄
監査役	

沿革

1970年 5月	会社設立 株式会社富士ソフトウェア研究所(神奈川県横浜市) 資本金:300万円
1972年 9月	東京事業所開設(東京都新宿区)
1976年 3月	鎌倉事業所開設(神奈川県鎌倉市)
1984年 4月	富士ソフトウェア株式会社に社名変更
1985年 5月	本社ビル(現大船ビル)落成(神奈川県鎌倉市)
1986年 6月	自社プロダクト「毛筆わーぶろ」販売開始
1987年 4月	教育出版事業を開始
12月	日本証券協会東京地区店頭市場に株式を公開 資本金:9億4,910万円
1990年 3月	第1回全日本ロボット相撲大会開催
1992年 10月	東京証券取引所市場第二部に株式を上場 資本金:19億1,190万円
1995年 6月	富士ソフト株式会社に社名変更 ISO9001認証取得
10月	ネットワーク事業開始
1996年 10月	株式会社ABCと合併し、富士ソフトABC株式会社に 社名変更 資本金:27億5,100万円
1998年 8月	ISO14001認証取得
9月	東京証券取引所市場第一部に株式を上場
2001年 4月	事業本部制を導入
2002年 3月	資本金:262億28万円に増資
5月	プライバシーマーク認証取得
2004年 4月	本社ビル落成(神奈川県横浜市)
2006年 3月	ISMS CMMI(Level 3)認証取得
7月	富士ソフト株式会社に社名変更
2007年 2月	秋葉原ビル落成(東京都千代田区)
2009年 6月	執行役員制度を導入
2010年 3月	台北支店開設(台湾 台北) 自社プロダクトヒューマノイド「パルロ」販売開始
2012年 7月	ソウル支店開設(韓国 ソウル)
11月	自社プロダクト「moreNOTE」販売開始

認証

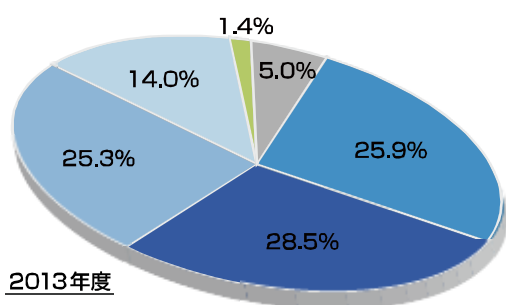
 プライバシーマーク認証 (認証番号:11820153(06) 2002年5月7日)	 ISO9001認証 (登録番号:JQA-0910 1995年6月23日)
 Head Office ISO14001認証 (登録番号:JQA-EM0205 1998年8月21日) 特定労働派遣事業届出済(受理番号:特14-03-0015)	 JQA-IM1223/ISO27001 認証取得部生:DCグループ 九州DCグループ/運用グループ ISO/IEC27001認証 (認証登録番号:JQA-IM1223 2006年3月10日)



組織図



分野別売上高比率

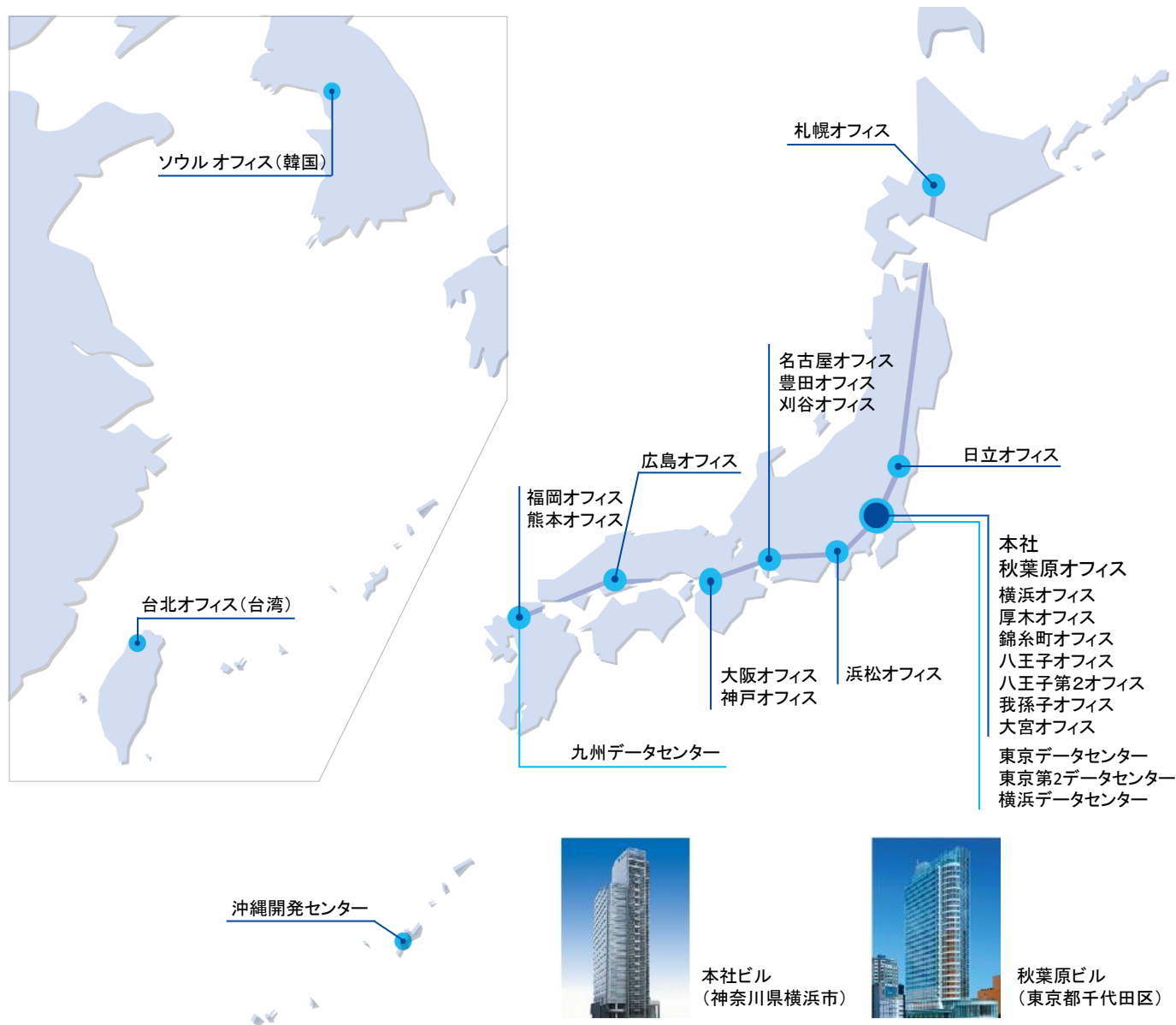


2013年度

- 組込系/制御系ソフトウェア**
モバイル端末、通信基地局、デジタル家電、FA、OA等の組込系/制御系ソフトウェア開発
- 業務系ソフトウェア**
金融・流通・製造関連企業の業務系ソフトウェア開発
- プロダクト・サービス**
富士ソフトグループおよび戦略的パートナーシップに基づく他社のプロダクト・サービス、物販
- アウトソーシング**
データセンタービジネス、システム保守・運用など
- ファシリティ事業**
不動産賃貸ビジネスに関する売上
- その他事業**
オフィスサービス、ハードウェア開発



オフィスネットワーク



富士ソフトグループ

- サイバネットシステム株式会社(東証一部上場)
サイバネットグループ
 - 莎益博工程系統開発(上海)有限公司
 - 思瀚科技股份有限公司
 - CYBERNET SYSTEMS HOLDINGS U.S. Inc.,
・ SIGMETRIX, LLC
 - CYBERNET HOLDINGS CANADA, Inc.,
・ WATERLOO MAPLE Inc.
 - NOESIS SOLUTIONS N.V
 - CYBERNET SYSTEMS KOREA CO.,Ltd.
- 株式会社ヴィンクス(JASDAQ上場)
ヴィンクスグループ
 - 株式会社 4U Applications
 - 株式会社 エス・エフ・アイ
 - 維傑思科技(杭州)有限公司
・ 上海新域系統集成有限公司
 - VINX MALAYSIA Sdn.Bhd.
 - VINX VIETNAM Co.,Ltd.
- サイバーコム株式会社(JASDAQ上場)
- 富士ソフトサービスビューロ株式会社
- 株式会社東証コンピュータシステム
- 株式会社オーエー研究所
- イデア・コンサルティング株式会社
- 富士ソフト・ティッシュエン지니어リング株式会社
- 富士軟件科技(山東)有限公司
- 富士ソフト企画株式会社
- 株式会社日本ビジネスソフト*2
- エース証券株式会社*2

*2:関連企業

グローバルネットワーク

MAPLESOFT EUROPE
(イギリス ケンブリッジ)

MAPLESOFT EUROPE
(ドイツ アーヘン)
NOESIS SOLUTIONS
(ベルギー ルーヴェン)

SIGMETRIX
(アメリカ テキサス)

CYBERNET SYSTEMS
HOLDINGS U.S.
(アメリカ デラウェア)

CYBERNET
HOLDINGS
CANADA
(カナダ オンタリオ)

WATERLOO MAPLE
(カナダ オンタリオ)

VINX MALAYSIA
(マレーシア クアラルンプール)

莎益博工程系統開発
(中国 北京)

維傑思科技
富士軟件科技(山東)
(中国 済南)

莎益博工程系統開発
上海新域系統集成
(中国 上海)

莎益博工程系統開発
(中国 成都)

維傑思科技
(中国 杭州)

莎益博工程系統開発
(中国 深圳)

ソウル支店
CYBERNET SYSTEMS
KOREA
(韓国 ソウル)

西日本支社(広島)

富士ソフト本社(横浜)

中部支社(名古屋)

関西支社(大阪)

西日本支社(福岡)

台北支店
(台湾 新竹)

思渤科技
(台湾 新竹)

VINX VIETNAM
(ベトナム ホーチミン)

- 富士ソフト本社
- 富士ソフト支社/支店
- 富士ソフトグループ企業